



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月8日

上場会社名 リゾートトラスト株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 4681 URL <https://www.resorttrust.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏見 有貴  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 業務部門管掌 兼CCO (氏名) 井内 克之 (TEL) (052)933-6519  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 平成30年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	77,334	10.3	6,074	11.4	6,507	1.7	3,998	5.6
30年3月期第2四半期	70,110	7.5	5,452	15.3	6,400	34.4	3,787	4.8

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 3,077百万円(△21.5%) 30年3月期第2四半期 3,921百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	37.40	34.40
30年3月期第2四半期	35.50	32.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	402,491	125,925	30.2
30年3月期	421,440	125,190	28.7

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 121,554百万円 30年3月期 120,762百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
31年3月期	—	23.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	183,600	11.0	19,000	7.1	19,500	0.4	12,400	4.8	115.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	108,520,799株	30年3月期	108,520,799株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	1,500,526株	30年3月期	1,662,070株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	106,917,213株	30年3月期2Q	106,686,258株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページをご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、本日、当社ホームページ(投資家情報-IR資料)に「決算説明資料」を掲載いたします。(https://www.resorttrust.co.jp/ir/)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第2四半期連結累計期間の概況

※当第2四半期連結累計期間の「計画」については、平成30年5月14日付の公表数値に基づいております。

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	70,110百万円	77,334百万円	81,900百万円	+10.3%	△5.6%
営業利益	5,452百万円	6,074百万円	6,300百万円	+11.4%	△3.6%
経常利益	6,400百万円	6,507百万円	6,700百万円	+1.7%	△2.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,787百万円	3,998百万円	4,000百万円	+5.6%	△0.0%

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善が持続し、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の状況は、平成30年2月に開業した「芦屋ベイコート倶楽部」、並びに、平成30年4月に開業した「エクシブ六甲サンクチュアリ・ヴィラ」のホテル運営収益が業績貢献したほか、平成28年8月に販売を開始した「ラグーナベイコート倶楽部」の会員権販売が好調に推移したことなどにより、売上高は77,334百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は6,074百万円（前年同期比11.4%増）、経常利益は6,507百万円（前年同期比1.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,998百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。また、第1四半期連結会計期間より、組織変更に伴い、事業セグメントの区分方法を見直しております。前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は変更後の区分方法で算出しております。

②セグメントの業績概況

【会員権事業】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	13,825百万円	19,204百万円	19,860百万円	+38.9%	△3.3%
セグメント利益	3,339百万円	4,901百万円	4,560百万円	+46.8%	+7.5%

会員権事業におきましては、平成29年12月に販売を開始した「横浜ベイコート倶楽部」等の会員権販売が好調に推移したこと、平成30年4月に「エクシブ六甲サンクチュアリ・ヴィラ」が開業したことで、それまで繰り延べられてきた不動産収益が一括収益計上されることなどにより増収増益となりました。

【ホテルレストラン等事業】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	40,634百万円	40,799百万円	43,090百万円	+0.4%	△5.3%
セグメント利益	3,016百万円	2,401百万円	3,020百万円	△20.4%	△20.5%

ホテルレストラン等事業におきましては、平成30年2月に開業した「芦屋ベイコート倶楽部」、並びに、平成30年4月に開業した「エクシブ六甲サンクチュアリ・ヴィラ」のホテル運営収益が業績へ寄与した一方で、減価償却費等の費用が増加したことなどにより増収減益となりました。

【メディカル事業】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	15,282百万円	16,997百万円	18,610百万円	+11.2%	△8.7%
セグメント利益	2,611百万円	2,955百万円	2,850百万円	+13.2%	+3.7%

メディカル事業におきましては、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員増加に伴う年会費収入等の増加のほか、シニアレジデンスの運営施設拡大、健診事業や化粧品、サプリ等物販事業が拡大したことなどにより増収増益となりました。

【その他】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	367百万円	333百万円	340百万円	△9.5%	△2.1%
セグメント利益	216百万円	223百万円	230百万円	+3.3%	△2.7%

その他におきましては、連結子会社であるアール・ティー開発(株)において賃貸物件が減少したことに伴い、オフィスビルの賃貸料収入が減少した一方で、固定資産税、減価償却費等の費用が減少したことなどにより減収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は402,491百万円(前連結会計年度比4.5%の減少)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、有価証券が5,904百万円、投資有価証券が20,898百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は276,565百万円(前連結会計年度比6.6%の減少)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、一年以内返済予定長期借入金が15,426百万円、未払金が8,464百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は125,925百万円(前連結会計年度比0.6%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が1,505百万円増加した一方で、為替換算調整勘定が1,278百万円減少したことなどによるものであります。その結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は30.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月14日に公表した当期の業績予想に変更はありません。通期連結業績予想は以下のとおりです。

平成31年3月期 通期連結業績予想数値（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	前連結会計年度 (実績)	当連結会計年度 (計画)	増減比
売上高	165,413百万円	183,600百万円	+11.0%
営業利益	17,742百万円	19,000百万円	+7.1%
経常利益	19,422百万円	19,500百万円	+0.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,830百万円	12,400百万円	+4.8%

通期業績見通しについては、平成30年2月に開業した「芦屋ベイコート倶楽部」が通期稼動するほか、平成30年4月に「エクシブ六甲サンクチュアリ・ヴィラ」が開業、平成31年3月に予定している「ラグーナベイコート倶楽部」が開業を迎えることに伴い、それまで繰延べられてきた不動産収益が一括収益計上されることに加え、メディカル事業において、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員数の増加に伴う、会費収入の増加のほか、シニアレジデンスの運営施設拡大、健診事業や化粧品、サプリ等物販事業の拡大が見込まれることなどから、当社グループ全体として売上高 183,600百万円（前年同期比 11.0%増）、営業利益 19,000百万円（同 7.1%増）、経常利益 19,500百万円（同 0.4%増）、親会社に帰属する当期純利益 12,400百万円（同 4.8%増）を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,366	30,313
受取手形及び売掛金	7,689	8,092
営業貸付金	44,041	45,668
有価証券	6,404	500
商品	972	1,003
販売用不動産	22,776	27,174
原材料及び貯蔵品	1,374	1,375
仕掛販売用不動産	28,116	23,263
その他	6,303	8,116
貸倒引当金	△950	△1,007
流動資産合計	146,094	144,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	94,830	94,905
機械装置及び運搬具（純額）	2,765	2,752
コース勘定	7,591	7,591
土地	38,302	38,220
リース資産（純額）	6,689	6,334
建設仮勘定	15,700	19,273
その他（純額）	4,721	4,330
有形固定資産合計	170,600	173,408
無形固定資産		
のれん	4,121	3,931
ソフトウェア	4,240	3,951
その他	2,638	3,283
無形固定資産合計	11,001	11,166
投資その他の資産		
投資有価証券	64,724	43,825
関係会社株式	1,390	1,385
長期貸付金	6,163	6,299
退職給付に係る資産	1,219	1,178
繰延税金資産	7,596	7,314
その他	13,486	14,186
貸倒引当金	△835	△773
投資その他の資産合計	93,744	73,416
固定資産合計	275,345	257,990
資産合計	421,440	402,491

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,355	1,340
短期借入金	8,958	14,540
1年内返済予定の長期借入金	19,119	3,693
1年内償還予定の社債	2,750	250
リース債務	848	849
未払金	16,825	8,360
未払法人税等	4,741	2,344
未払消費税等	1,642	841
前受金	28,564	30,432
前受収益	13,975	12,786
債務保証損失引当金	179	232
その他	7,192	7,904
流動負債合計	106,153	83,577
固定負債		
社債	700	575
新株予約権付社債	29,855	29,834
長期借入金	32,069	36,888
リース債務	6,343	5,949
繰延税金負債	829	794
役員退職慰労引当金	2,131	2,096
株式給付引当金	1,294	1,580
退職給付に係る負債	1,755	1,852
長期預り保証金	33,693	33,281
償却型長期預り保証金	67,847	65,969
負ののれん	100	40
その他	13,475	14,124
固定負債合計	190,096	192,987
負債合計	296,250	276,565
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,590	19,590
資本剰余金	22,192	22,192
利益剰余金	78,770	80,276
自己株式	△2,212	△1,859
株主資本合計	118,341	120,200
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	661	875
為替換算調整勘定	1,814	536
退職給付に係る調整累計額	△55	△58
その他の包括利益累計額合計	2,421	1,354
新株予約権	229	261
非支配株主持分	4,198	4,110
純資産合計	125,190	125,925
負債純資産合計	421,440	402,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	70,110	77,334
売上原価	8,962	13,022
売上総利益	61,148	64,312
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	21,806	22,244
役員退職慰労引当金繰入額	61	170
修繕維持費	1,491	1,721
貸倒引当金繰入額	54	62
水道光熱費	2,666	2,808
減価償却費	3,662	4,120
その他	25,953	27,109
販売費及び一般管理費合計	55,695	58,237
営業利益	5,452	6,074
営業外収益		
受取利息	1,145	847
受取配当金	33	36
負ののれん償却額	60	60
持分法による投資利益	7	5
為替差益	51	19
貸倒引当金戻入額	55	66
債務保証損失引当金戻入額	16	—
その他	231	146
営業外収益合計	1,602	1,181
営業外費用		
支払利息及び社債利息	318	351
債務保証損失引当金繰入額	—	52
前受金保証料	33	23
控除対象外消費税等	207	259
その他	95	60
営業外費用合計	655	747
経常利益	6,400	6,507

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	31	144
投資有価証券売却益	14	504
投資有価証券償還益	39	—
関係会社株式売却益	4	4
受取補償金	86	—
その他	—	9
特別利益合計	177	663
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	12	20
減損損失	—	104
固定資産売却損	260	—
投資有価証券売却損	—	495
投資有価証券償還損	59	—
役員退職慰労金	34	40
その他	47	23
特別損失合計	415	684
税金等調整前四半期純利益	6,162	6,487
法人税、住民税及び事業税	2,300	2,139
法人税等調整額	2	204
法人税等合計	2,303	2,343
四半期純利益	3,859	4,143
非支配株主に帰属する四半期純利益	72	144
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,787	3,998

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	3,859	4,143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,289	215
為替換算調整勘定	△1,231	△1,278
退職給付に係る調整額	4	△2
その他の包括利益合計	62	△1,065
四半期包括利益	3,921	3,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,849	2,931
非支配株主に係る四半期包括利益	72	145

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,162	6,487
減価償却費	4,095	4,678
減損損失	—	104
のれん及び負ののれん償却額	322	240
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12	△4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	96	120
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△75	△35
受取利息及び受取配当金	△1,179	△883
支払利息及び社債利息	318	351
為替差損益(△は益)	△24	△16
売上債権の増減額(△は増加)	1,050	△1,981
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,468	△63
仕入債務の増減額(△は減少)	△99	△10
未払金の増減額(△は減少)	△11,061	△6,968
前受金の増減額(△は減少)	6,895	1,867
長期預り保証金の増減額(△は減少)	△2,928	△2,290
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,759	△801
その他	△1,448	△2,401
小計	△4,595	△1,607
利息及び配当金の受取額	1,181	1,032
利息の支払額	△325	△373
法人税等の支払額	△3,392	△4,183
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,132	△5,132
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△20	△3,020
定期預金の払戻による収入	803	77
有価証券の取得による支出	△3,611	—
有価証券の売却及び償還による収入	6,617	2,890
投資有価証券の取得による支出	△1,040	△0
投資有価証券の売却及び償還による収入	8,021	20,173
関係会社株式の取得による支出	△14	△4
関係会社株式の売却による収入	14	14
有形及び無形固定資産の取得による支出	△16,631	△10,221
貸付けによる支出	△1,122	△530
貸付金の回収による収入	83	91
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,398	—
その他	61	△279
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,236	9,191

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	504	4,954
長期借入れによる収入	590	5,771
長期借入金の返済による支出	△3,167	△16,377
社債の償還による支出	△125	△2,625
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	218	207
配当金の支払額	△2,492	△2,492
その他	2,097	1,531
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,375	△9,030
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△17,719	△4,969
現金及び現金同等物の期首残高	40,365	32,469
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	66	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,711	27,500

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,825	40,634	15,282	69,742	367	70,110
セグメント間の内部売上 高又は振替高	5	1,214	45	1,265	381	1,646
計	13,830	41,848	15,328	71,008	748	71,756
セグメント利益	3,339	3,016	2,611	8,967	216	9,183

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	8,967
「その他」の区分の利益	216
全社費用(注)	△3,731
四半期連結損益計算書の営業利益	5,452

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,204	40,799	16,997	77,001	333	77,334
セグメント間の内部売上 高又は振替高	8	1,172	59	1,241	382	1,624
計	19,213	41,972	17,057	78,243	715	78,958
セグメント利益	4,901	2,401	2,955	10,258	223	10,482

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	10,258
「その他」の区分の利益	223
全社費用 (注)	△4,408
四半期連結損益計算書の営業利益	6,074

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、組織変更に伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、従来「会員権事業」に含めておりましたゴルフ会員権販売及びゴルフ事業子会社2社については「ホテルレストラン等事業」へ含め、「ホテルレストラン等事業」に含めておりました株式会社日本スイスパーフェクションについては「メディカル事業」に含めております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ホテルレストラン等事業」セグメントにおいて、施設の閉鎖等に伴い、当第2四半期連結累計期間に104百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「メディカル事業」セグメントにおいて、当社子会社トラストガーデン株式会社が、介護付有料老人ホーム「らいふアシスト馬車道」を吸収分割により承継したことにより、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては110百万円であります。